

令和5年度 愛の泉保育園 自己評価の公表について

保育士等が保育の質の向上を図る為実施した自己評価を基に、園全体の評価として取りまとめましたので公表します。

園全体の評価

令和5年度の評価

保育園の自己評価（1.事業者の運営の基本、2.子どもの発達援助、3.子育て支援、4.子どもの安全、5.地域の関わり）において8割以上出来ている結果になりましたが、その中で2.子どもの発達援助の項目の中で地域交流と保育環境について4.子どもの安全の項目の中で不審者対策を今年度の課題としました。

令和5年度の課題

- ・地域との関わりにも力を入れていきたい。
- ・保育環境の整備を充実させていきたい。
- ・不審者対策を講じていきたい。

令和6年度の改善点

- ・地域との交流活動等（高原自治会、他園）を行う。
- ・保育内外の設備、用具等の衛生管理に努めていく。
- ・子どもの発達段階に即した玩具や遊具等を検討し提供していく。
- ・不審者等の侵入防止策（登降園時間以外は出入口の施錠）、不審者対応マニュアルを周知し避難訓練を実施する。

総 評

新型コロナウイルス感染症が第5類になりましたが、感染拡大予防対策を継続しながら保育活動に取り組み、園の行事等においては人数制限を緩和して開催することができました。（運動会、クリスマスおゆうぎ会、保育参観）等。行事を通して保護者と子どもの成長を実感しながら共感することが出来ました。前年度の課題で数年実施していなかった地域との交流も、（愛聖クリニックデイサービスセンターの高齢者との交流会）を再開することが出来て良かったです。また保育士自身の保育の振り返りから園全体の振り返りを行い、外部研修等で個々が学んだ成果を還元し園内研修等を充実させ保育の質の向上に努めました。保育園の自己評価について不十分であった地域交流と保育環境の整備、不審者対策等を改善できるように取り組み、子どもたちが安心して過ごせる環境を整え、保護者や地域社会との信頼関係を築いていきたいと思えます。